

第46回 **BACH** スクリーンコンサート

2025. 7月

今月のテーマ ニコロ・パガニーニと影響を受けた作曲家

パガニーニは、19世紀前半のイタリアで活躍した天才ヴァイオリニストです。華麗な演奏と独創的な作曲で、ヨーロッパ中を魅了しました。現代ヴァイオリン奏法の礎を築いた音楽家として知られ、ロマン派の作曲家をはじめ多くの作曲家に影響を与え、パガニーニ作曲を原曲にした作品が多く存在する。

あまりの超絶技巧ぶりに「悪魔に魂を売り渡して技巧を手に入れた」と噂されたほど。パガニーニが演奏に使用したヴァイオリンとして、1743年にガルネリ・デル・ジェズが製作した「イル・カンノーネ」は現在も保存され貸し出しもしている。



曲目

1、ヴァイオリン協奏曲第1番 第3楽章 Op. 6 10:00

庄司 紗矢香は1999年、パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで史上最年少の17歳で優勝。

2、ヴァイオリン協奏曲第2番 第3楽章 Op. 7 10:00

第3楽章が「鐘のロンド」で有名で「ラ・カンパネラ」とも表記され、リストの代表的なラ・カンパネラの原曲でもある。

3、ギターとヴァイオリンのための大ソナタイ長調から第2楽章ロマンス 4:05

女性ギター奏者と恋に落ち、表立った活動をやめ、多くのギター曲を作曲しているなかでも代表的な作品。美しいメロディーと技巧的なパッセージが織り成す、まさにロマンティックな雰囲気漂う一曲です。

4、モーゼ幻想曲 7:00

ロッシーニのオペラ「エジプトのモーゼ（イタリア語版）」に触発されて書かれたといわれている。ヴァイオリンの一番低い音域を担当する4番線（G線）のみによって演奏される。

5、24 の奇想曲（または 24 のカプリース） 70：00

無伴奏曲であり、ヴァイオリンの重音奏法や、視覚的にも演奏効果の高い左手ピッツィカートなど強烈な技巧が随所に盛り込まれた作品であるため、ヴァイオリン演奏家からは難曲として挙げられている。

パガニーニの曲をピアノ曲にした作曲家

6、フ란ツ・リスト

パガニーニの演奏に感銘を受け、彼の「24 のカプリース」を基にしたピアノ曲「パガニーニ大練習曲」と「パガニーニ超絶技巧大練習曲」6 曲を作曲した。特に「ラ・カンパネラ」は、パガニーニのヴァイオリン協奏曲第 2 番の第 3 楽章を基にした作品です。

パガニーニの原曲とリストの練習曲を 3 曲聴

き比べてみます。

6-1、リスト超絶技巧大練習曲第 1 番：パガニーニのカプリース第 5 6：00

6-2、リスト大練習曲第 3 番：パガニに協奏曲第 2 番 3 楽章から 6：30

6-3、リスト超絶技巧大練習曲第 3 番：パガニに協奏曲第 2 番 3 楽章 8：30

6-4、リスト大練習曲第 6 番：カプリース 24 番から

7、セルゲイ・ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 6：00

この作品は、パガニーニの「24 のカプリース」を主題として 24 の変奏の形式で作曲されたピアノとオーケストラのための作品です。

他に

ロベルト・シューマン

パガニーニの演奏に触発され、「24 のカプリース」から 2 組の練習曲に編曲した。

(1) 「パガニーニのカプリースによる演奏会用練習曲 6 曲」

1 番：カプリース第 12 番から、2 番：カプリース第 6 番から、3 番：カプリース第 11 番から、4 番：カプリース第 4 番から、5 番：カプリース第 2 番から、6 番：カプリース第 3 番から

(2) 「パガニーニのカプリースによる練習曲 6 曲」

1 番：カプリース第 5 番から、2 番：カプリース第 9 番から、3 番：カプリース第 10 番から、4 番：13 番から、5 番：19 番から、6 番：16 番から

ヨハネス・ブラームス

パガニーニの「24 のカプリース」の主題による変奏曲第 24 番を編曲